

神奈川鋳螺協同組合
説明会参考資料 #2
2008年8月22日

ねじ産業再開発のための 未来開発プロジェクトについて

(社)日本ねじ工業協会 参与
目白大学 客員教授
辻端 敏彦

2008年7月 ねじ産業の展望と課題 1

ねじ製造産業の概況 業容の推移

出典：経済産業省工業統計：財務省貿易統計
：金属産業新聞19年8月6日号

年度	1994年	1997年	2000年	2003年	2005年
総事業所数	5,245	5,124	4,841	4,224	3,939
内産3名超	2,465	2,343	2,239	1,989	1,933
全体比	47%	46%	46%	47%	49%
総従業員数	49,528	48,780	44,932	42,200	43,191
内産3名超	43,819	43,019	39,634	37,774	39,209
全体比	88%	88%	88%	90%	91%
百万円 A総出荷額	994,211	1,012,958	826,796	814,245	910,693
内産3名超	957,742	976,019	800,947	789,992	887,035
全体比	96%	96%	97%	97%	97%
百万円 B輸入額	15,975	32,491	32,617	41,671	58,768
全体比	1.7%	3.2%	3.9%	5.1%	6.5%
百万円 C輸出額	113,808	138,616	138,325	154,081	193,408
全体比	7.1倍	43倍	42倍	37倍	33倍

2008年7月 ねじ産業の展望と課題 2

ねじ製造産業の概況 指数・生産性の推移

出典：経済産業省工業統計：財務省貿易統計
：金属産業新聞19年8月6日号

年度	1994年	1997年	2000年	2003年	2005年
総事業所数	100	98	92	81	75
内産3名超	100	95	91	81	78
総従業員数	100	98	91	85	87
内産3名超	100	98	90	86	89
百万円 A総出荷額	100	102	83	82	92
内産3名超	100	102	84	82	93
千円 総出荷/人	100	103	92	96	105
	20,074	20,766	18,401	19,295	21,085
千円 3名超	100	104	92	96	104
	21,857	22,680	20,209	20,914	22,623

2008年7月 ねじ産業の展望と課題 3

ねじ製造産業の概況

バブル期以降2003年までの10年間は、日本の工業生産活動の不調に伴ってねじ製造産業も不調であった。現在製造業の復調によって小康を得ている。

当産業の傾向（典型的中小企業モデル）

- 業界の縮小、企業選別が進行
 - ・ 事業所数、従業員数の減少 上位企業占有率の上昇
- 構造的経営問題の継続
 - ・ 慢性的過当競争 新商品・新技術研究低調
 - ・ 原材料高騰・転嫁難 輸入品価格、品質、量の問題
 - ・ 人材採用難・継承問題 学者、研究者、専科学生の減少

2008年7月 ねじ産業の展望と課題 4

ねじ産業の展望

- 需要・生産は横ばい、弱含み
 - ・ 需要頭打ち、海外移転、輸入品
- 産業の縮小トレンド進行、活力減退
 - ・ 企業集中と選別の進行、生産性改善
- 環境対応負担増大
 - ・ 大手顧客から目標ノルマ化可能性
- 収益悪化要因定着
 - ・ 原材料コスト、人件費、円高、過当競争

2008年7月 ねじ産業の展望と課題 5

業界が認識している課題

- ねじ業界の地位、イメージの向上
 1. 産業としての
 - 社会的認知の構築、向上
 2. ねじ産業の
 - 望ましいイメージの確認と啓蒙
 3. 有力企業の理解協力と
 - 下位企業の意識改革

2008年7月 ねじ産業の展望と課題 6